

【分配金のお知らせ】

2016年2月16日  
野村アセットマネジメント株式会社

## 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」の 2016年2月15日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」「毎月分配型」(以下、ファンドといいます。 )の2016年2月15日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算において、ハイ・イールド債券市場および資源国通貨の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「資源国通貨コース」の分配金を80円から60円に引き下げることといたしました。一方、「円コース」、「アジア通貨コース」につきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。

「資源国通貨コース」の分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

### 【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	資源国通貨コース (毎月分配型)	アジア通貨コース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	50円 (50円)	60円 (80円)	80円 (80円)
決算日の基準価額	7,592円	3,732円	6,314円
決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算)	12,434円 (12,732円)	10,920円 (11,286円)	14,749円 (15,596円)
分配金額設定来累計	4,530円	7,340円	6,480円

前回決算:2016年1月15日、設定日:2010年4月23日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したのとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

- ・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

—上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

### 【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## ファンドの基準価額の推移と投資環境について

## (1) 基準価額の推移

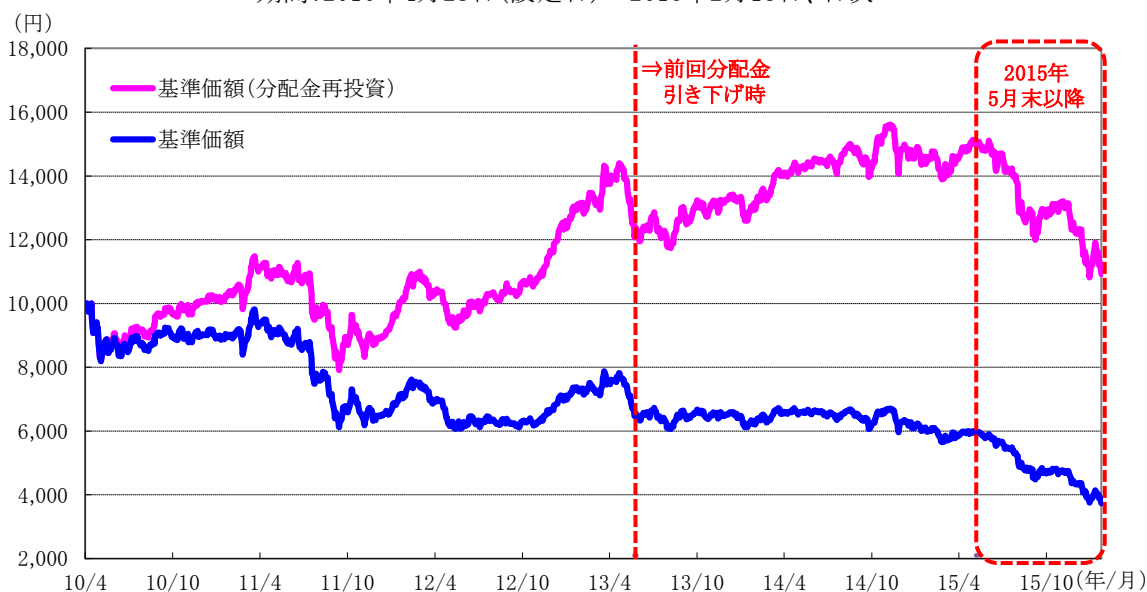
「資源国通貨コース(毎月分配型)」のパフォーマンスは、前回の分配金引き下げ(2013年6月17日決算において100円⇒80円、同決算日の基準価額は6,549円)以降、2015年5月頃までは、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)は上昇傾向となり、基準価額は概ね6,000円台での横ばいで推移しました。

2015年6月頃より、FRB(米連邦準備制度理事会)が同年内に政策金利を引き上げるとの観測が高まったことや、世界経済に対する先行き不透明感から、投資家のリスク回避姿勢が強まった結果、ハイ・イールド債券や資源国通貨の為替レート(対円)は下落し、基準価額は軟調な推移となりました。

2016年2月15日現在、基準価額は3,732円となり、2015年5月末からの騰落率は-37.4%、基準価額(分配金再投資)の騰落率は-27.5%でした。

今回の決算において、ハイ・イールド債券市場および資源国通貨の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「資源国通貨コース(毎月分配型)」の分配金を80円から60円に引き下げることにいたしました。

資源国通貨コース(毎月分配型)の基準価額の推移  
期間:2010年4月23日(設定日)～2016年2月15日、日次



2016年2月15日現在

基準価額(分配金再投資)	10,920円
基準価額	3,732円

・基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

—上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

## (2)ハイ・イールド債券市場

ファンドにおける実質的な投資対象である「ハイ・イールド債券」は、世界の3地域(米国、欧州、新興国その他)に区分されます。

### ●米国ハイ・イールド債券市場

FRB(米連邦準備制度理事会)によるQE(量的金融緩和)に下支えされ、米国経済が緩やかに成長したことや、米国企業決算が概ね好調な内容だったことなどを背景に、米国ハイ・イールド債券市場は2015年5月まで堅調に推移しました。その後は、中国経済の成長鈍化懸念が高まったことや、FRBがほぼ10年ぶりに政策金利を引き上げたことなどから下落しました。

### ●欧州ハイ・イールド債券市場

過去、欧州周辺国の債務問題への懸念が高まる場面もありましたが、ECB(欧州中央銀行)が大規模な流動性供給を実施し、欧州金融機関の信用不安を後退させたことや、QEを開始したことなどから、欧州ハイ・イールド債券市場は2015年4月中旬まで堅調に推移しました。その後は、中国を中心に世界経済の先行きに対する警戒感が高まったことなどから下落しました。

### ●新興国ハイ・イールド債券市場

米国経済が緩やかに成長したことや、FRBやECBが緩やかな金融政策を実施したことなどを背景に、2014年7月上旬まで概ね堅調に推移しました。その後は、ウクライナや中東情勢の緊迫化により、地政学的リスクが意識されたことや、原油価格など商品価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。

### 世界のハイ・イールド債券市場のパフォーマンス推移

期間:2010年4月26日\*~2016年1月29日、日次

※ 各ファンド(「マネープールファンド」を除く。)が投資対象とする外国投資信託(「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」)の設定日。



使用した市場指数は6ページ「当資料で使用した市場指数・金利について」をご参照ください。

(出所)ブルームバーグ、JPモルガンのデータを基に野村アセットマネジメント作成

— 上りは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

### (3) 資源国通貨について

米国では2014年10月にFRBが資産購入プログラムを終了し、その後も雇用などの経済指標に緩やかな改善が見られたことを背景として、FRBは2015年12月に利上げに踏み切りました。また、中国では人民元の基準値切り下げや株式市場の急落など金融市場に混乱が見られ、新興国市場においても資本流出圧力が高まりました。

商品市場においては、中国の景気減速や原油の供給過剰などが懸念されたことで、原油価格をはじめとした商品価格は下落傾向で推移しました。

こうした投資環境の中、資源国通貨は下落傾向で推移しました。

#### ● ブラジルレアル

ブラジルでは、議会運営の困難さや景気低迷による税収の低下を背景として、政府が進めている財政再建に対する懸念が高まりました。また、経済成長とインフレに改善の兆しが見えないことや、汚職や国内景気の低迷を受けて、大統領の支持率が低下し、与党内の政治的対立が深刻化したことで、大統領の弾劾や主要閣僚の辞任などの懸念が高まりました。こうした投資環境の中で、ブラジルレアルは下落しました。

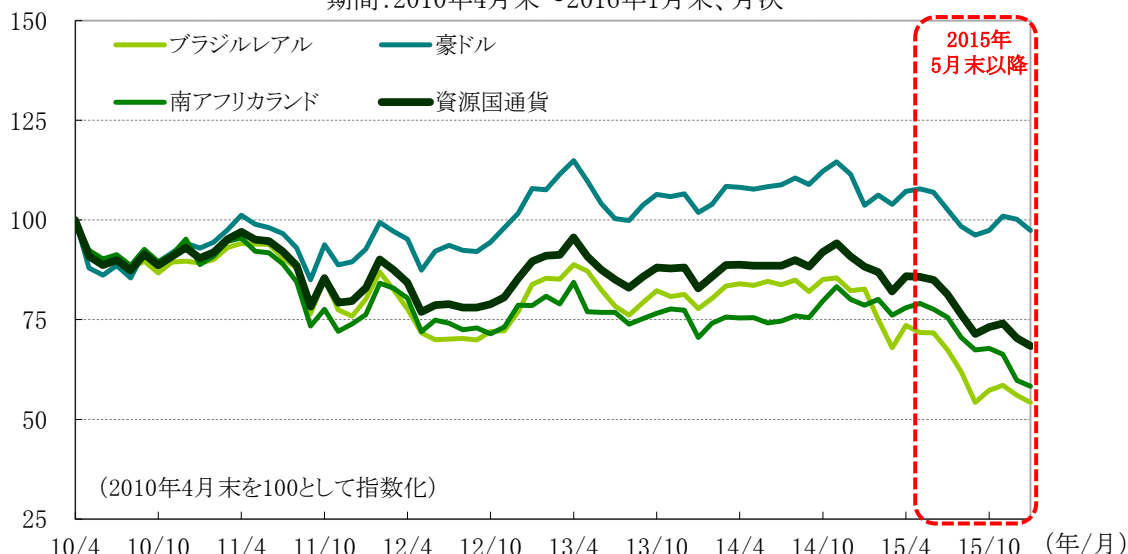
#### ● 豪ドル

豪州では、主要な輸出相手国である中国の景気減速が懸念されたことや、主要産品である鉄鉱石の価格が下落基調で推移したことから、同国の経済に下方圧力が高まりました。また、豪州準備銀行(RBA、中央銀行)は鉄鉱石価格の下落を考慮すると豪ドルが過大評価されているとの認識を示し、2015年中に2度の利下げに踏み切り、政策金利を2.0%としました。2015年後半には雇用が増加し失業率が低下するなど、雇用環境の改善が示されたものの、豪ドルは下落しました。

#### ● 南アフリカランド

南アフリカでは、労働争議の頻発や慢性的な電力不足を背景とした経済活動の低迷、主要産品である資源価格が下落したことによる経常収支の悪化が懸念されました。また、昨年12月にはズマ大統領が突如として当時の財務大臣を解任したことで、大統領による強権的な政治運営や財政悪化懸念が広がり、南アフリカの金融市場が混乱しました。市場の混乱を鎮静化するため再び財務大臣を変更したものの、南アフリカランドはその後も下落基調で推移しました。

資源国通貨の為替レート(対円)の推移  
期間:2010年4月末~2016年1月末、月次



「資源国通貨」の為替の推移は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後の市場見通しについて

(1)ハイ・イールド債券市場について

●米国ハイ・イールド債券市場

短期的には、中国経済の成長鈍化懸念や原油価格の下落などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が高まっていることから慎重な見方も必要と考えます。

一方で、FRBによる利上げが緩やかなペースとなるとの見方が強まっていることや、米国経済の底堅い成長が見込まれていることは、プラス材料であると考えます。

設定来で見ると足元のスプレッドは最高水準付近にあり、割安感が高まっています。

●欧州ハイ・イールド債券市場

域内のデフレ警戒感が依然として根強いことや、景気回復についても注視する必要があります。

一方で、ECBが追加金融緩和によって経済を下支えするとの期待が高まっていることは、プラス材料であると考えます。

緩やかではありますが、足元でスプレッドは拡大しており、割安感が高まっています。

●新興国ハイ・イールド債券市場

原油価格など商品価格が下落していることに加え、中国経済の先行き不透明感が強まっていることや、新興国からの資金流出懸念が高まっていることなどから、慎重な見方も必要と考えます。

一方で、底堅いファンダメンタルズ(基礎的条件)を背景に、先進国経済より新興国経済の成長率の絶対値は、今後も高い水準で推移すると考えられ、相対的に高い金利水準からも、新興国ハイ・イールド債券市場への注目は今後も継続すると考えます。

設定来で見るとスプレッドは緩やかに拡大し、足元では最も高い水準にあり、割安感が高まっています。

ファンドが実質的に投資しているハイ・イールド債の利回り(米ドル為替取引後ベース)\*は、7.3%(2016年1月29日現在)と、現在のハイ・イールド債は魅力的な利回りの水準にあり、このような高い利回りがハイ・イールド債の価格下落局面でも下支えとなると同時に中長期的な成長に寄与できると考えています。

\*ファンドが投資している外国投資信託のポートフォリオ特性値。米ドル建て以外の債券等への投資にあたっては、原則として米ドル以外の債券など組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、債券など組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。

米国ハイ・イールド債券のスプレッド：米国10年国債との利回り差  
 欧州ハイ・イールド債券のスプレッド：ドイツ10年国債との利回り差  
 新興国ハイ・イールド債券のスプレッド：米国10年国債との利回り差  
 使用した市場指数は6ページ「当資料で使用した市場指数・金利について」をご参照ください。  
 米国10年国債、ドイツ10年国債の各利回り：ブルームバーグ・ジェネリックス  
 (出所)ブルームバーグ、JPモルガンのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

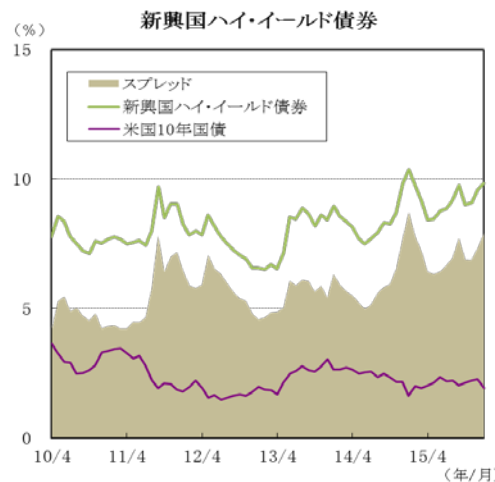
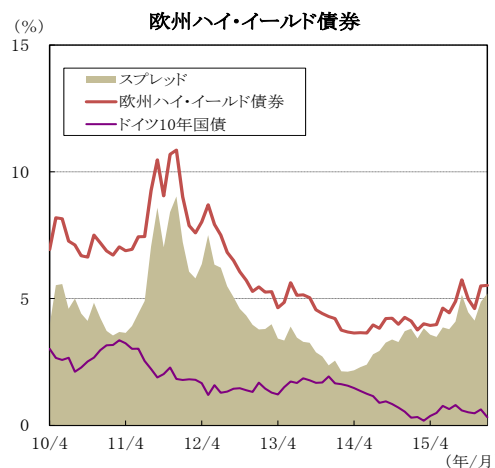
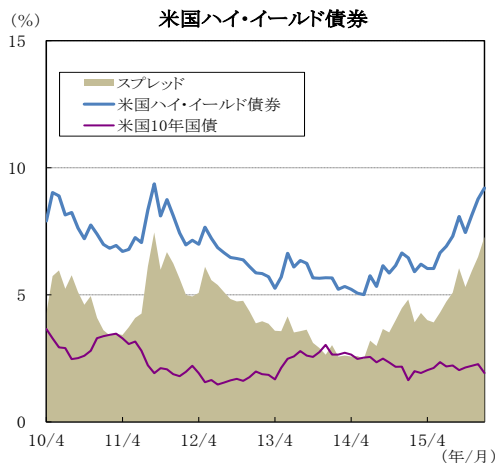
一見通しは当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

上記データは過去のものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

— また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

各ハイ・イールド債券の利回りとスプレッド  
 期間：2010年4月末～2016年1月末、月次



当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

## (2)資源国通貨について

今後の資源国通貨の展開については、商品市況や先進国の金融政策の動向に大きく左右されるものと考えています。

商品価格の見通しは、中国を中心とした主要消費国の景気や、供給側の生産動向に大きく影響を受けることが想定され、今後も不透明感の強い状況が続くと見えています。一方で、米国の利上げが緩やかなペースで実施されると予想されているほか、日銀やECBが金融緩和策を強化する姿勢を示しているなど、先進国の金融緩和が継続している観点では資源国通貨の支援材料になると考えています。

### ●ブラジルレアル

ブラジルに関しては引き続き、財政規律を重視するレビ氏が昨年末に財務相を辞任して以降、後任のバルボーザ財務相が成長支援の色彩を強めていることを注視しています。ブラジル中央銀行も1月の金融政策決定会合で、利上げを見込む市場予想に反し政策金利を据え置いており、景気に配慮する姿勢へと転換しました。一方で、ブラジルの潤沢な外貨準備、高水準の実質金利、改善傾向が鮮明な対外収支を評価しています。ブラジルの相対的に高い金利水準が、中長期的に通貨を下支えすることが期待される一方で、政府による財政健全化が進展した際には同国への資金流入が期待されます。

### ●豪ドル

豪州では、2015年後半に雇用者数の増加や失業率の低下が見られるなど労働環境の改善が示されているほか、金融緩和や豪ドル安の影響から非資源産業が回復傾向を見せており、豪州経済に緩やかな拡大が確認されている点を評価しています。豪州と経済的な結びつきが強い中国の景気に対しての悲観が後退し、主要輸出品である鉄鉱石の価格が改善を示せば、豪ドルは底堅く推移するものと期待しています。

### ●南アフリカランド

南アフリカに関しては、電力の供給不足や労働争議などの国内要因により低成長が継続する可能性を注視しています。一方で、中央銀行が1月の金融政策決定会合で政策金利を0.50%引き上げ6.75%とするなど、インフレを抑制するため金融引き締め姿勢を継続している点を評価しています。資源価格の低迷や中国経済の停滞懸念を既に織り込んだ中での更なる大幅な通貨安は限定的であると考えています。

—上記は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

### 当資料で使用した市場指数・金利について

#### 【市場指数】

米国ハイ・イールド債券市場: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス  
 欧州ハイ・イールド債券市場: BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス  
 新興国ハイ・イールド債券市場: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(BB格以下)と  
 JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(BB格以下)を半分ずつ合成

●BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。BofA・メリルリンチ・ユーロ・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch EURO High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、欧州のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表わす代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。JPモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード(JP Morgan Corporate Emerging Market Bond Index Broad)は、J.P. Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット社債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

#### 【各通貨の短期金利】

ブラジルレアル: CD(譲渡性預金証書)レート1ヵ月、豪ドル: 銀行手形1ヵ月、南アフリカランド: ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリード・レート1ヵ月

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

資源国通貨の金利について

設定来でみると、資源国通貨の為替レート(対円)は下落基調にあり、足元では同期間の安値圏にあります。一方、資源国通貨のトータルリターン(金利収入+為替変動)の推移を見ると、足元で安値圏にある為替レートとは大きく異なり、ほぼ横ばいに推移しました。

また、ブラジルレアル、南アフリカランドは足元で短期金利が上昇しており、金利収入の効果が高い状況にあると考えられます。

「資源国通貨コース」では、足元の資源国通貨の金利の高さが為替取引によるプレミアムの効果を高めており、中長期的には通貨の価格下落を吸収し、パフォーマンスに寄与すると期待されます。

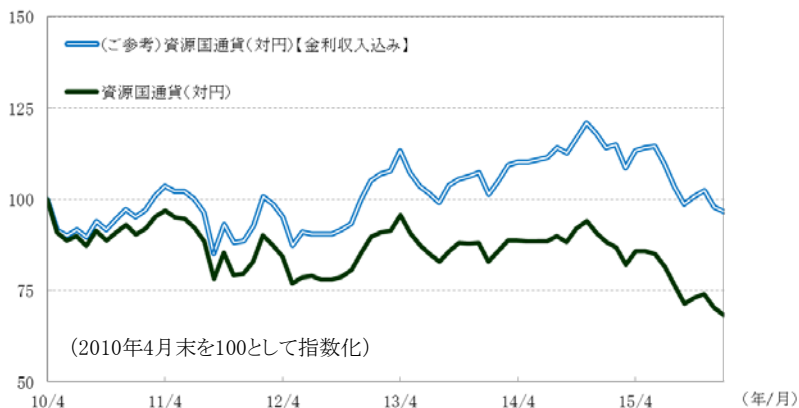
なお、2016年1月末の資源国通貨の短期金利は7.7%、米ドルの短期金利(1ヵ月LIBOR)は0.4%であり、簡便法で計算すると為替取引によるプレミアムは7.3%※と試算されます。

※為替取引によるプレミアムはあくまで簡便法によるものです。上記のプレミアムの値は、実際のプレミアムの値とは異なります。また、米ドルと対象通貨の金利環境が逆転した場合や、投資環境の変化によっては、当該為替取引によるコストが発生する場合があります。

ブラジルレアルはNDF取引を用いた為替取引を行いません。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、プレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

(ご参考)資源国通貨の為替レート(対円)に金利収入が上乗せされるトータルリターン

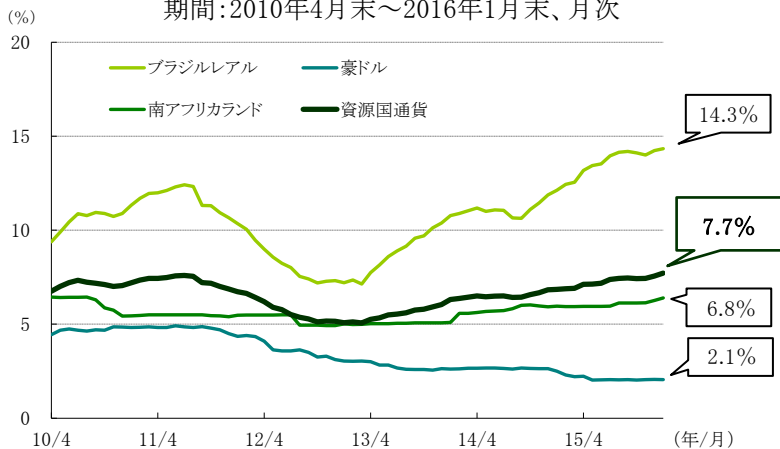
期間:2010年4月末~2016年1月末、月次



各「資源国通貨」の為替の推移は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、毎月末にリバランスをしたと仮定し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

資源国通貨の短期金利の推移

期間:2010年4月末~2016年1月末、月次



「資源国通貨」の短期金利の推移は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。各通貨の短期金利は、6ページ「当資料で使用した市場指数・金利について」をご参照ください。(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

— 上記データは過去のものであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

今後とも「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう宜しくお願いいたします。

以上

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)  
毎月分配型/年2回決算型

## 【ファンドの特色】

- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の7本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く3つのコースを総称して「各コース」といいます。)
  - ◆ 高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
  - ◆ 世界のハイ・イールド債券<sup>※1</sup>を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
    - ※1 当ファンドにおいて、ハイ・イールド債券とは、格付機関によって格付される債券の信用度でBB格相当以下に格付されている有価証券をいいます(先進国または新興国の政府、政府機関もしくは企業が発行する債券、資産担保証券、優先証券等を含みます。)
    - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆ 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
    - ・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)/年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型)/年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 <sup>※</sup> を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型)/年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引 <sup>※</sup> を行いません。

※保有する外貨建資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
  - ※ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目標とします。
- ◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。
    - ※ 「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆ 「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

## ● 分配の方針

### ◆ 毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

### ◆ 年2回決算型

原則、毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



## 【ファンドの特色】

## ■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ハイ・イールド・ボンド」の主な投資方針について■

- 世界のハイ・イールド債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
- ハイ・イールド債券を、発行体の登録国や所在地、発行通貨等から、「米国」、「欧州」、「新興国その他」の各地域に属する債券に分類します。
- 各地域の債券への投資比率は、原則として、下表の通りとします。

地域名	米国	欧州	新興国その他
投資比率	25～50%	25～50%	25～50%

※上記の投資比率は、市場構造や投資環境の変化等によって、見直す場合があります。

- 米ドル建て以外の外貨建資産に投資を行なった場合は、各副投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。  
ファンドには3つのクラス(日本円クラス、資源国通貨クラス、アジア通貨クラス)があり、クラスごとに、組入資産について、原則として、米ドルを売り、各クラスの通貨(日本円クラス:円、資源国通貨クラス:ブラジルレアル/豪ドル/南アフリカランド、アジア通貨クラス:中国元/インドルピー/インドネシアルピア)を買う為替取引を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。
- 投資顧問会社が、ハイ・イールド債券の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- 副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、ハイ・イールド債券の運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
- 投資顧問会社は選定した副投資顧問会社及びファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。
- 投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社より助言を受けます。

副投資顧問会社	主な担当地域
Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.	米国
J.P. Morgan Investment Management Inc.	
FIL Investments International	欧州
Deutsche Asset & Wealth Management Investment GmbH	
Schroder Investment Management Limited	新興国その他
Schroder Investment Management North America Inc.	
Schroder Investment Management (Singapore) Ltd	
UBS Asset Management (Americas) Inc.	
UBS Asset Management (UK) Ltd	
Ashmore Investment Management Limited	米国、欧州、新興国その他
Standish Mellon Asset Management Company LLC	
Wellington Management Company LLP	

- 出所: 投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成
- 上記の各副投資顧問会社は、平成28年1月29日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## ◀分配金に関する留意点▶

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)  
毎月分配型/年2回決算型

【投資リスク】

各ファンド(「マネーボールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネーボールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 平成32年3月16日まで(平成22年4月23日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
なお、「マネーボールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネーボールファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 資源国通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行
アジア通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、購入、換金の申込みの受け付けを行なわないものとして委託会社が指定する日の場合

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

【当ファンドに係る費用】

(2016年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に4.32%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネーボールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.8424%(税抜年0.78%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.7424%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネーボールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成27年12月11日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネーボールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/



当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。